

KAETSU

KAETSU Graduate School of Business Innovation

MBA

嘉悦大学大学院

ビジネス創造研究科

[博士前期課程・博士後期課程]

Earning the 3Rs
with
KAETSU MBA

[Reskilling] [Restart] [Revitalize]

オンライン受講
可能

GUIDE BOOK

2026

KAETSU MBA で 3つのRを獲得——。

嘉悦大学大学院のMBAコースは、「リスキリング（新技能習得）」「リスタート（再出発）」
「リバイタライズ（地域再活性化）」の3つの柱で、受講生のキャリアアップを支援します。

Reskilling

【不確実な時代を勝ち抜く、未来志向のリスキリング】

嘉悦MBAは、現代社会で求められる「リスキリング（新技能習得）」を重視し、実践的な力を修得する場を提供します。

01

思考力の構築

会計学、経済学、統計学、情報学といった基礎管理領域で、ビジネスをデータで捉え、社会の変化を予測し、的確な経営判断を下す思考力を修得します。

02

課題解決能力と 戦略的思考

経営戦略や公共政策の専門科目では、企業事例に基づいたケースメソッドや参加型ワークショップを通じ、実践的な「課題解決能力」と「戦略的思考」を養います。

03

未来を創る専門領域

事業承継、ビジネスイノベーション、ブランドデザイン、グローバル&ローカルビジネスなど、新たな価値を創造する科目が充実しています。

04

実務家教員による指導

長年の実務経験を持つ教授陣が、不確実な時代を生き抜くための「羅針盤」となる力を育み、専門性を深化させます。

05

「伝統の実学」に基づく 能力育成

創設者嘉悦孝が掲げた「伝統の実学」に基づき、卒業後も社会の変化に適応し、主体的に課題を解決できる能力を育みます。

MBAでは、実践知と学術知の融合を実践してきた教授陣があなたを迎え、指導していきます。ぜいたくな学びの環境で思う存分実力を高めてください。全力であなたを支えます。

嘉悦大学大学院ビジネス創造研究科科長 滑川光裕



Restart

【あなたの多様な経験が、未来のキャリアを拓く】

嘉悦MBAは、これまでの経験を強みに、キャリアアップや「リスタート（再出発）」を目指す方を応援します。

01 多様性を受容する 学び舎

さまざまな実務・学術経験を持つ方を歓迎し、その多様なバックグラウンドを活かしてスキルを高めあう場を提供します。

02 柔軟な学習サポート

仕事、育児、介護などと両立できるような履修制度を導入。「女性経営管理コース」では、女性がキャリアを再構築しやすいよう、きめ細やかなサポート体制を整備しています。（男性の育児・介護などにも対応します）

03 女性リーダー育成の 伝統と実績

創設以来の「女子の実業教育」の理念を継承し、多様な分野で活躍できる女性リーダーの育成に特に力を入れています。

04 費用負担を軽減する 学びの支援制度

文部科学省の職業実践力育成プログラム（BP）認定を見据えて設計され、「教育訓練給付金（専門実践教育訓練）」の指定となれば、一定の条件を満たした方に給付金が支給されます。※指定申請予定

05 潜在能力を引き出し 理想のキャリアを再構築

実践的なカリキュラムは、新たな知識とスキルを習得し、潜在能力を最大限に引き出すことで、望むキャリアを主体的に設計し、基盤を築き直します。

Revitalize

【地域を動かす、変革のリーダーを育成】

嘉悦MBAは、地域に深く根差し、社会に新たな息吹をもたらす「リバイタライズ（地域再活性化）」を重視しています。

01 公共政策の専門知識

地域社会の活性化に不可欠な公共セクターの管理、政策決定プロセス、規制改革に関する専門知識を体系的に学び、実践的な課題解決能力を養います。

02 税務のエキスパート からの指導

国税庁からの出向教員により実務に即した税務関連科目が指導され、税理士を目指す方や地域でビジネスを立ち上げる方に役立つ専門知識が修得できます。

03 地域との連携を強化 する奨学金制度

地域に貢献する人材育成のため、「地域リーダー特待生」制度を設け、経済的負担を軽減し、学びの機会を広げます。

04 社会変革を牽引する 実践的リーダーシップ

地域課題をテーマにしたグループワークやケーススタディを通じて、行政、企業、NPO、住民と連携し、プロジェクトを推進する力を養います。

05 持続可能な社会へ貢献 する未来志向の学び

地域資源を活かした新しいビジネスモデルの創造、地域コミュニティの活性化、環境に配慮した政策立案など、未来を見据えた社会変革を推進する力を養います。

MBA 博士前期課程

学位：修士（経営管理）

Master of Business Administration

活動の高度化を目指す社会人に門戸を開く実践プログラムも開設。

本学はビジネススクールとして、カリキュラム上、2つのプログラムを持っています。多くの年月をかけて練り上げられた科目編成によって、ビジネス現場で直面する課題解決のための実践知を修得し、さらに事例研究・フィールドワークなど実践知を体験的に発見・吸収する機会によって、さまざまなビジネスで多様な解決手段を導き出せる社会人として育成します。

2つのプログラム

実践プログラム

仕事と学びを両立、課題解決に直結する
実践的な研究でキャリアアップ！

経営戦略、公共政策あるいは基礎管理に関する新しい問題を発見し解決しようとする実践価値のあるテーマであって、経営提案、政策提言、特定成果（事業計画、模型、プログラム等とその説明資料）のいずれかの形式でまとめられ、広く深く検討された実践的問題意識に基づく特定課題に関する研究を行うプログラムです。なお、科目履修については38単位の修得が必要となります。

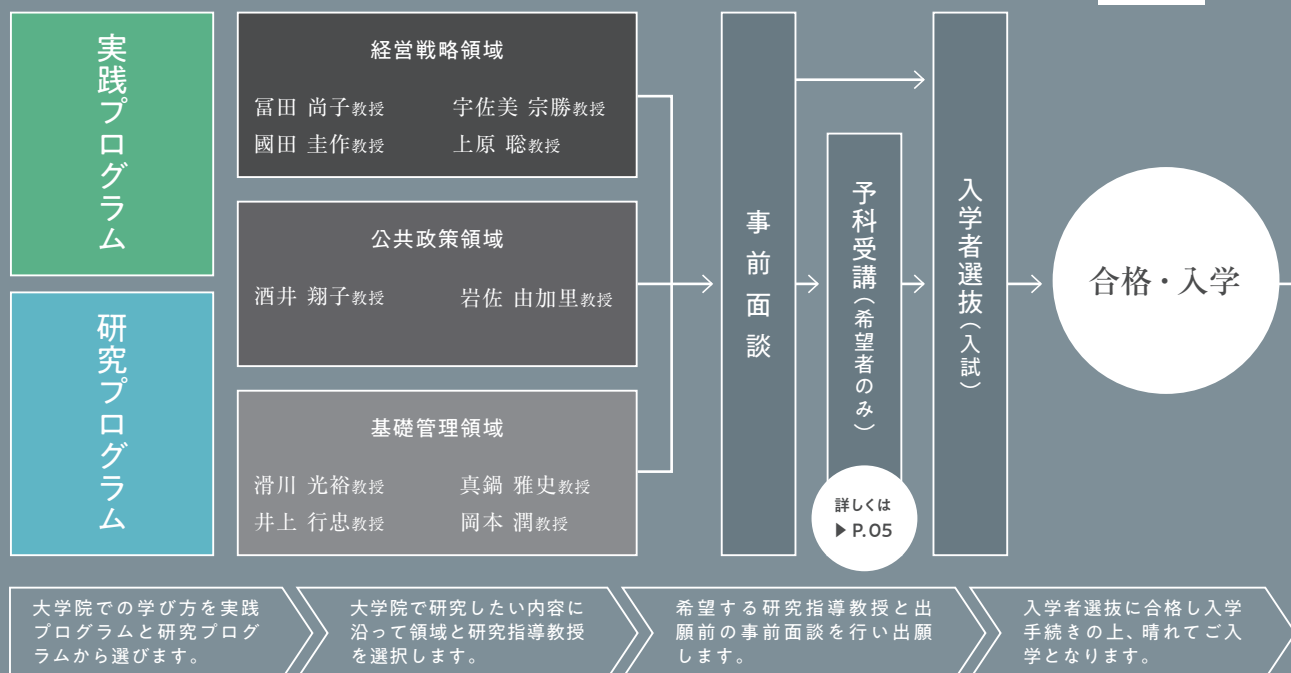
研究プログラム

深い探求で新たな知見へ、
アカデミックな道を拓く本格研究！

経営戦略、公共政策あるいは基礎管理に関する新しい問題を発見し解決しようとする学術的価値のあるテーマであって、広く深く検討された学術的問題意識に基づき結論には学術的貢献を含んでいる修士論文を作成するプログラムです。テーマ、問題設定、研究方法、結論等に先行研究にはないオリジナリティが認められることが必要です。なお、科目履修については30単位の修得が必要となります。

MBA取得までの道

お気軽に
ご相談ください

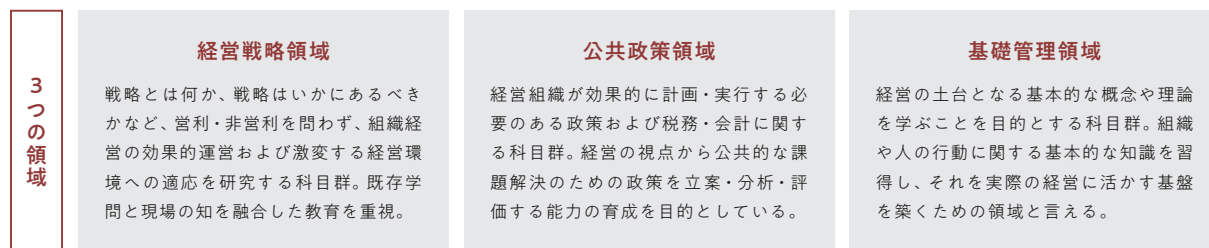




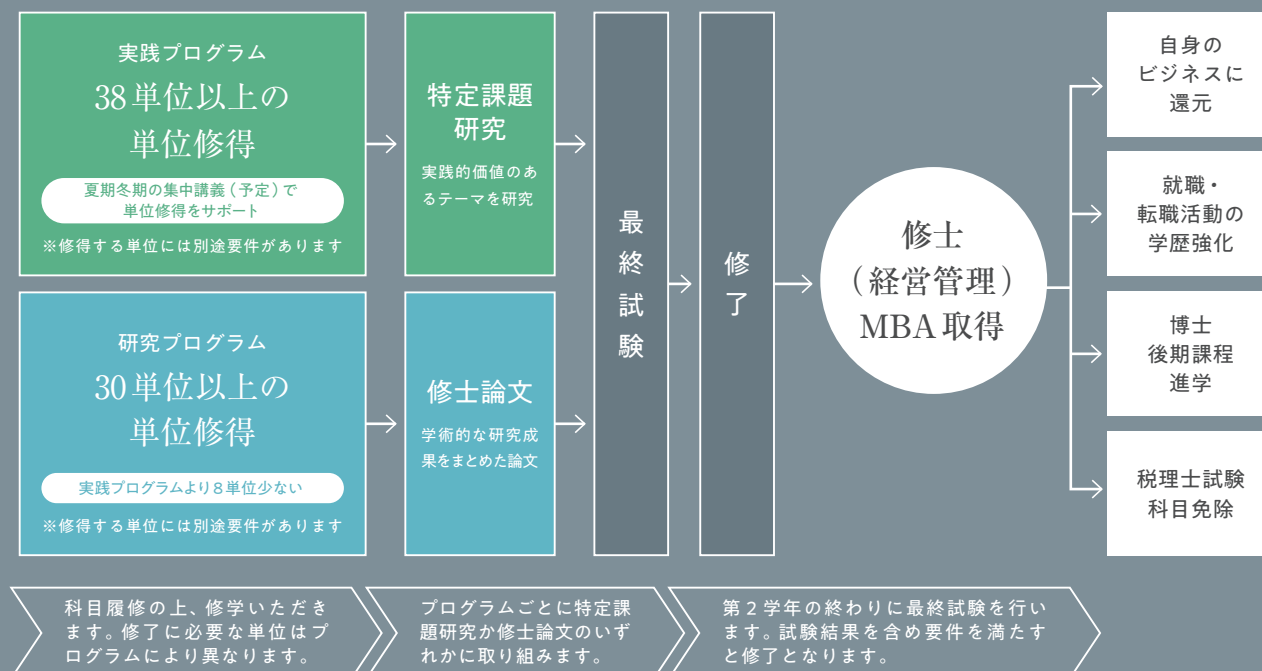
研究者育成を目指す「研究プログラム」と社会での実践力に磨きをかける「実践プログラム」

出願時点で希望するプログラムを選択していただきます。入試においては、研究プログラムは「研究能力」と「研究テーマの明確性」の評価、実践プログラムは「研究能力」と「現実課題への問題意識」の評価により可否を判定します。なお、いずれのプログラムを修めても「修士（経営管理）Master of Business Administration」の学位が得られます。

出願には研究指導教授との事前面談を経る必要があります。事前面談は入学後に行う研究内容の相違を防ぐために実施しますが、この中で同時に希望するプログラムに対する適性についても確認します。



従来からのアカデミズムを追求し、修士修了後には博士後期課程進学も視野に入れた研究プログラムと、新たにより広い層に学んでいただける実践プログラムを設置し、MBA取得を目指すビジネススクールとしての体制も整えています。



■ 予科（女性経営管理コース）

科目を絞って大学院の授業を受講してみる「お試し大学院」の制度を用意しました

正規に大学院に入学する前に、1年間、科目を絞って受講してみる「お試し大学院」の制度があります。女性がキャリアを再構築しやすいよう、きめ細やかなサポート体制を整備しています。正規入学後には学費減免と合わせて単位認定されますので、働きながら、育児や介護をしながらなどで標準修業年限（2年）での修了が困難な学生にも活用可能な制度です。

予科在籍は最短で2半期（1年）、
最長で4半期（2年）まで可能

予科入学後
3年以内の本科入学で
本制度適用となる

予科在籍しつつ
本科入学しないことも可能

本科入学後は
研究プログラム（30単位）と
実践プログラム（38単位）の
いずれの選択も可能
（ただし、実践プログラムを主として想定）

履修単位目安
1年間12単位
春6 秋6

標準修業年限（2年）での
修学が難しい学生に
活用いただきたい制度
（予科入学が本科入学を約束するものではありません）

学費については ▶ P.08

■ 国税庁からの出向教員による直接指導 税理士試験科目の一部免除に対応

国税庁からの出向教員らによる税理士試験科目免除（税法科目・会計学科目）に対応した丁寧な論文指導で、高度な専門知識が修得できます。

税理士試験科目の一部免除（税法科目・会計学科目）に対応（研究プログラムのみ）

対象の研究指導教授のもと、税法または会計学に係る研究の修士論文を作成し、国税審議会の承認を得れば、税理士試験科目の一部免除（税法科目であれば2科目、会計学科目であれば1科目）が受けられます。なお、その際には、税法科目・会計学科目のうち、いずれか1科目に合格していることが必要です。

Interview

大学院での研究が現在の仕事に活かしています

Y.Jさん（博士前期課程修了）東京都在住 税理士事務所勤務

私の勤務先のお客様が地元の中小企業経営者の方々を中心であるということもあり、嘉悦大学大学院に入学しました。

研究テーマは「所得税法の所得区分について」。税理士資格の取得も目指し、修士課程1年次には消費税法科目に合格。修了後は修士論文を国税審議会へ提出し、税理士試験科目の免除申請を行いました。既に合格していた2科目を加え資格要件を満たし、税理士の登録申請を行いました。

大学院では少人数できめ細かな指導を受けることができました。論文指導の際には、メールのやりとりでも先生から時間を置かず的確な返答をいただきました。OBとの縦のつながりも強く交流の機会も多くあります。

印象に残っているのは「特殊講義（ライブケース）」の授業です。実際に社会で活躍されている企業経営者の方々の話を伺い、実情をリアルに知ることができました。この経験は、現在仕事上で接する中小企業経営者の方々に対応する際にも活かされています。

現在は、税理士補助業務として、お客様を定期的に訪問して、会計指導や月次損益の進捗など、さまざまなお話をさせていただいています。税金に対して不安に思うお客様が非常に多いですが、適切な処理さえしておけば必要以上に怖がることはないとお伝えすることを心がけています。そのためにも、頻繁に改正される税法などの動向には常に気を配っていかないと考えています。

開講科目（2026年度）

領域	授業科目	講義等の内容
経営戦略	経営管理論A・B	経営管理に関する基礎的・応用的概念について、これをいかに経営実践に活用するかをケースを用いながら修得する。
	経営戦略論A・B	経営戦略、マーケティング及び消費者行動に関する基礎的・応用的概念について、これを経営実践に活用し、また実際のマーケティング戦略を構築するための能力を修得する。
	経営管理特論（人的資源管理A・B）	経営管理論のうち、特に組織管理や人事労務管理といった人的資源管理に関する基礎的・応用的概念について、これをいかに経営実践に活用するかをケースを用いながら修得する。
	経営管理特論（財務管理A・B）	経営管理論のうち、特に資金調達や資金運用といった財務管理に関する基礎的・応用的概念について、これをいかに経営実践に活用するかをケースを用いながら修得する。
	経営管理特論（中小企業経営A・B）	中小企業やスタートアップ企業に特有の経営管理に関する基礎的・応用的概念を修得し、これらの概念を実際の中小企業経営実践に活用する能力をケースを用いながら修得する。
	経営戦略特論（ビジネスイノベーションA・B）	ビジネス現場におけるイノベーションに関する基礎的・応用的概念について、これを経営実践に活用し、また実際のイノベーション戦略を構築するための能力を修得する。
	経営戦略特論（日本と中国の産業政策A・B）	日本及び中国における産業政策の基礎的・応用的概念を修得し、世界情勢を読み解きながらビジネス実践を行うための能力を養成する。
	経営戦略特論（コンサルティング実践A・B）	ビジネス現場における基礎的・応用的なコンサルティングスキルを修得し、経営者に対する専門的な提案を行う能力を養成する。
	経営戦略特論（ブランドデザインA・B）	ビジネス現場におけるブランドデザインに関する基礎的・応用的概念について、これを経営実践に活用し、また実際のブランド戦略を構築するための能力を修得する。
	経営戦略特論（グローバル&ローカルビジネスA・B）	グローバルビジネスとローカルビジネスにおける高度かつ実践的な経営課題を結びつけ、これらを総合的に捉える中での経営戦略を構築する能力を修得する。
	経営戦略特論（事業承継A・B）	ビジネス現場における事業承継に関する高度かつ実践的な経営課題について、これらの諸課題を解決する経営戦略を構築するための能力を修得する。
公共政策	公共管理論A・B	公共セクターの管理に関する基礎的・応用的概念について、これをいかに公共活動に活用するかをケースを用いながら修得する。
	公共政策論A・B	公共政策及び公共経済に関する基礎的・応用的概念について、これを政策実践に活用し、また実際の政策リアリズムを構築するための能力を修得する。
	公共管理特論（租税法総論）	租税法に関する基礎的・応用的概念について、これをいかに租税実務に活用するかをケースや判例に基づいて修得する。
	公共管理特論（国際課税）	国内外の税務行政上の諸課題に関する基礎的・応用的概念について、これをいかに租税実務に活用するかをケースや判例に基づいて修得する。
	公共管理特論（法人税法）	法人税法に関する基礎的・応用的概念について、これをいかに租税実務に活用するかをケースや判例に基づいて修得する。
	公共管理特論（消費税法）	消費税法に関する基礎的・応用的概念について、これをいかに租税実務に活用するかをケースや判例に基づいて修得する。
	公共管理特論（所得税法）	所得税法に関する基礎的・応用的概念について、これをいかに租税実務に活用するかをケースや判例に基づいて修得する。
	公共管理特論（相続税法）	相続税法に関する基礎的・応用的概念について、これをいかに租税実務に活用するかをケースや判例に基づいて修得する。
	公共政策特論（パブリックイノベーションA・B）	公共セクターにおけるイノベーションに関する基礎的・応用的概念について、これを公共セクター改革に活用し、また実際の政策イノベーションを構築するための能力を修得する。
	公共政策特論（政策決定過程A・B）	公共政策決定プロセスに関する基礎的・応用的概念を修得し、現実のケースを用いて、いかに合意形成を図り政策を実現するかについてのリアリズムを修得する。
	公共政策特論（規制改革A・B）	公共セクターによるビジネスに対する諸規制の課題について、これらの規制を改革し、新しいビジネスを創造するための戦略を構築する能力を修得する。
	公共政策特論（地域活性化A・B）	地域における公共政策に関する基礎的・応用的概念について、これを政策実践に活用し、また実際の地域活性化戦略を構築するための能力を修得する。
基礎管理	会計学A・B	経営戦略や公共政策の基盤となる会計学の基礎的・応用的概念を修得し、会計学的な基盤を踏まえた経営提案や政策提案を行う能力を養成する。
	経済学A・B	経営戦略や公共政策の基盤となる経済学の基礎的・応用的概念を修得し、経済学的な基盤を踏まえた経営提案や政策提案を行う能力を養成する。
	統計学A・B	経営戦略や公共政策の基盤となる統計学の基礎的・応用的分析枠組みを修得し、統計学的な分析に基づく経営提案や政策提案を行う能力を養成する。
	情報学A・B	経営戦略や公共政策の基盤となる情報学の基礎的・応用的分析枠組みを修得し、情報学的な分析に基づく経営提案や政策提案を行う能力を養成する。
	基礎管理特論（リーダーシップA・B）	組織のミッションを実現するリーダーシップの基礎・応用実践を、ケースメソッドによって修得する。
	基礎管理特論（アントレプレナーシップA・B）	組織を新たにスタートさせるアントレプレナーシップの基礎・応用実践を、ケースメソッドによって修得する。
	基礎管理特論（パブリックスピーキングA・B）	組織のミッションを効果的に伝え共感を広げるパブリックスピーキングの基礎・応用実践を、ケースメソッドによって修得する。
	基礎管理特論（ディールA・B）	ステークホルダーとの合意形成を実現するディール技法の基礎・応用実践を、ケースメソッドによって修得する。
共通	基礎管理特論（財務会計A・B）	経営戦略や公共政策の基盤となる会計学概念のうち、特に企業会計原則や公会計の基本的・応用的考え方を修得し、会計学的な分析に基づく経営提案や政策提案を行う能力を養成する。
	研究指導（前期課程A・B・C・D）	修士論文及び特定課題研究に関する指導を行う。
	特殊講義（ライブケース）	現実の経営者や政策担当者から過去、現在、未来の課題について講義がなされ、その課題を解決する実現可能な方法論についてディスカッションを行う。
	プロジェクト	現実の経営戦略や公共政策の課題を取り上げて、問題発見から問題解決までの一連のプロセスを実践する。
	リテラシー養成演習	文献収集スキル、データ分析および論理構成・文章作成スキルといった、思考や言語化されていない概念を効果的に記述するために必要なリテラシーを養成する。

開講科目は、状況により休講となる場合があります。

博士後期課程

学位：博士（経営管理）

MBA修了後のキャリア

Doctor of Business Administration

前期課程の「実践知」を基に新たな理論を創造できる、より高度な研究者の育成を目指します。

博士後期課程では、博士前期課程で培った「実践知」に根ざす学術研究能力を基盤に、既存理論の豊富化や新たな理論構築を行うことにより、学問体系を刷新する研究者能力、あるいは理論を適用して、現実に関する新たな理解や政策的価値のある結論を導きうる研究者能力の醸成に努めます。活動の高度化を目指す社会人にも門戸を広げます。

カリキュラムと特色

01

3つの学問領域

「経営戦略」「公共政策」「基礎管理」で編成されます。いずれの領域においても企業経営を研究教育の焦点にして、新たな学術的価値を創造しうる研究者能力の養成を図ります。

02

指導教授およびアドバイザー教授による
複数教員による指導体制

研究指導は、指導教授およびアドバイザー教授1～2名の複数教員による指導体制で行います。

03

科目編成*

※博士後期課程の修了は、3年以上在学し、所定の授業科目について16単位を修得し、かつ博士論文審査および最終試験に合格することが要件です。

研究指導

博士論文の完成を目的として作成指導を行います。さらに、理論を中心に先行研究に関する講義にも力を注ぎます。上記の3つの学問領域に配置された研究指導科目から1科目を選択し、1～3年次にわたり継続して履修します。

特殊講義 (ライブケース)

中小企業経営者などによる経営現場の状況報告を基に授業を行うもので、経営現場から生まれた実践知を吸収し、博士論文の作成に役立てることを目的とします。

主として中小企業経営者に、企業の創業、発展経緯、現下の課題、今後の経営戦略、企業家の楽しみと苦悩などについてスピーチしてもらう。これによって受講者は、経営環境の厳しい変化や経営資源の不足と闘っている経営現場の生々しい状況を知ることができる。また、企業家という職業の実態にも触れられる。経営者のスピーチを行い、さらに質疑応答の時間を設けることで、受講者参加型の授業とする。受講者は経営上の注目点に関するレポートを提出する。博士前期課程との共通科目であり、隔週実施する。

特殊講義特論

「特殊講義（ライブケース）」で得られた現場発の情報を、理論的にいかに理解すべきか、その現場情報を基にすると既存理論をどのような方向に発展できるかなどを研究するもので、「特殊講義（ライブケース）」に連続した科目です。「実践知」と「理論」を架橋する能力の育成を目指します。

「特殊講義」では経営者のスピーチから経営上の注目点に関するレポートをまとめる。本授業ではこのレポートを基に、中小企業の発展性の原動力は何であるか、またその発展性を妨げる問題にはどのようなものがあるかを討論し、中小企業の発展性と問題性に関する理論的な解釈を深める。これにより受講者は経営現場から得られた「実践知」を「理論」へ架橋する能力を育成することができる。隔週、通年実施する。

教育目標・人材育成の狙い

教育目標

高度な研究者能力、すなわち「実践知」を基に新たな理論を創造できる研究者の育成に努め、本研究科が日本における総合的な企業経営研究の拠点となることを目指しています。

人材育成の狙い

大学、シンクタンクなど、専門研究機関で中心的な役割を担いうる人材を育成します。また、アジア経済の健全な発展に寄与する中国からの留学生なども対象に、アジア地域の指導的な研究者を育成することを目指します。

入学対象者

学内・学外学生、企業従事者、中小企業支援業務従事者（行政および公的機関職員、弁護士、中小企業診断士、税理士、地域おこしのリーダー）、東アジアからの留学生など。

学費・奨学金

学費

● 学費等（2026年度予定）

項目	初年次学費	2年次学費	2年間学費総額	
入学金	200,000円	—	通常	1,968,000円
授業料	884,000円	884,000円	入学金免除の 対象となった場合	1,768,000円
合計	1,084,000円	884,000円		

予科
（女性経営管理コース）
学費1年間
21.5万円年度登録料1.5万円
+ 学期3科目10万円
× 2期本科入学後初年次学費
最大20万円免除

教育訓練給付金制度

博士前期課程のみ

本学の大学院博士前期課程は、「一般教育訓練給付制度厚生労働大臣指定講座」です。2026年度からの「専門実践教育講座」の指定に向けた申請を予定しています。

教育訓練給付金（厚生労働省）教育訓練の種類と給付率

一般教育訓練

受講費用の20% [上限10万円] を
受講者に支給

専門実践教育訓練

最大で受講費用の80% [年間上限
64万円] を受講者に支給

給付を受けるには一定の条件があります。制度の詳細については、ハローワークにお問い合わせください。

奨学金

● 地域リーダー特待生（入学時）

博士前期課程のみ

内容	小平市を中心とする地域のリーダーを支援する制度です。申請によって選考を行います。申請者の中から5名程度を上限に入学時の入学金を免除いたします。 ※詳細は入試要項をご確認ください。		
給付額	200,000円		
給付期間	入学時	人数	5名

● 予科（女性経営管理コース）特待生（入学時）

博士前期課程のみ

内容	本学大学院科目等履修生を経て入学する方の入学時の入学金を免除いたします。 ・科目等履修生6科目コースを2回以上履修した方（入学金の全額） ・科目等履修生6科目コースを1回履修した方（入学金の半額） ※詳細は入試要項をご確認ください。		
給付額	200,000円／100,000円		
給付期間	入学時	人数	上限なし

● 卒業生優遇特待生（入学時）

内容	学校法人嘉悦学園が設置する（した）学校を卒業した方の入学時の入学金を免除いたします。 ※詳細は入試要項をご確認ください。		
給付額	200,000円		
給付期間	入学時	人数	上限なし

● 同窓生子女入学金免除制度（入学時）

内容	二親等以内の親族に学校法人嘉悦学園が設置する（した）学校の卒業生／在校生がいる場合に入学時の入学金を免除いたします。 ※詳細は入試要項をご確認ください。		
給付額	200,000円		
給付期間	入学時	人数	上限なし

● 日本学生支援機構

学業成績が優秀で、経済的に就学が困難な学生に対して学資を貸与し、社会に有為な人材を育成することを目的とした奨学制度です。この奨学金は貸与ですので、原則として大学院修了後、所定の方法で返還しなければなりません。

	第一種奨学金（後払い制度含む）	第二種奨学金
貸与月額	博士前期課程 50,000円または88,000円（選択） 博士後期課程 80,000円または122,000円（選択）	希望により次の5種類から選択 50,000円・80,000円・100,000円・ 130,000円・150,000円のいずれか
備考	無利子	年利3%を上限とする利子付 （在学中は無利子）

教員紹介

Faculty Profiles



研究指導
教授

ステップアップ・起業独立を実現する 変化に強いリーダーへ

富田 尚子教授

BS：経営戦略

博士前期課程

(財務管理論)

皆さんがこれから挑むのは、従来の知識や経験だけでは通用しない、前例のない課題が次々と現れる「新しい社会」です。私の講義では、企業投資・資金調達・企業価値評価といった財務的意思決定を体系的に学ぶ「コーポレートファイナンス」に加え、M&Aやスタートアップの視点も習得し、成長戦略と資本政策への理解を深めます。さらに「ベンチャーファイナンス」では、ベンチャーキャピタルによる仕組みを理解し、ビジネスモデル・プラン作成を通じて起業や新規事業に必要な実践的知識を習得。金融庁、金融機関、監査法人、ベンチャーキャピタル等での豊富な実務経験に基づいた事例を交え、現場で通用する「課題発見力」と環境に応じて柔軟に思考・行動できる「課題解決力」を養い、変化に強いリーダーを目指します。社会課題を解決し、未来を創るイノベーターとして、共に実践的な学びを深めましょう。

私の講義で、 あなたも社長になれる！

真田 幸光教授

BS：経営戦略

博士前期課程

(国際金融、地域経済)

皆さん、こんにちは。私が担当する講義では、専門である国際金融とアジア経済を軸に、韓国、台湾、香港、シンガポール、中国の経済動向を深く掘り下げ、また元銀行員としての実務経験に基づき、実践と理論を融合させた「生きる経済学」を展開します。同時に金融の視点から実体経済を捉え、世界経済における日本経済の位置、そして英米中心の世界秩序の変容について考察します。

現代の情報社会では、新聞やSNSなど多様な情報源から得た情報の真偽を見極める「鳥瞰的かつ多角的な視点」が不可欠です。変化の激しい時代において、正確な情報分析と将来予測はビジネス成功の鍵となるでしょう。

私はこれまで多くの学生を指導し、起業家も輩出してきました。経営者を目指す皆さん、共に学び、未来を切り拓きましょう。本講義が皆さんの知的好奇心を刺激し、将来の羅針盤となることを願っています。





データを見よ、 データを分析せよ

高橋 洋一教授 **PP: 公共政策** 博士前期課程
(マクロ経済、財政政策、金融政策)

フェイク動画やフェイクニュースが溢れる時代になりました。データやファクトをきちんと確認もせずに情報を発信しようとする「オールドメディア」や「御用学者」も相変わらずです。このような情報に流されることなく、データを分析し、経済変化を予測しながら、自らの力で決断していくことが、いま求められているのではないのでしょうか。

私は、大蔵省・財務省に在籍していたときには政府のバランスシートを作成しました。郵政民営化の際にはシステム開発にも携わりました。安倍内閣時のコロナ禍においても経済予測に基づいた財政政策の提案をし、増税なしの100兆円の経済対策が実現しました。常に自分でデータを見て、自分で分析してきています。

本学大学院に入学しようとする方には、データやファクトの分析力を磨いて、予測に基づいた決断ができるリーダーを目指されることを期待します。

フルサポートで論文完成のお手伝いをさせていただく

國田 圭作教授 **BS: 経営戦略** 博士前期課程
(商学、消費者行動、マーケティング)

長年、大手広告会社でマーケティングの実務を経験してきましたので、経営戦略領域全般、特に経営とマーケティングの関わりにおいて、効率の良いアドバイスができると思っています。中でもB2C企業については多様な業種・市場を広く見てきましたので、どんな領域であっても多分皆さんの問題意識に合わせた形で適切なアドバイスをさせていただけると思います。せっかくのMBAの学びを、ぜひ論文にまとめあげてキャリアの節目を飾ってください。



研究指導
教授



好奇心旺盛な探究心溢れるアンビシャスな学生さんが 志望してくれることを期待！

宇佐美 宗勝教授 **BS: 経営戦略** 博士前期課程 博士後期課程
(経営戦略論、マーケティング、航空経営論、経営管理論)

航空会社や国際機関での勤務経験を活かして、国内外のホスピタリティー産業のオペレーションマネジメントや顧客ロイヤリティの向上、企業戦略を中心に研究をしています。学生には、国内外の幅広い情報に接し、理論やフレームワークをベースに多面的に考察できるような姿勢を身につけてもらいたいです。また、事例に基づく定性的分析に加えて、データを用いた定量的分析にも積極的にトライしてもらいたいです。

研究指導
教授

教員紹介

Faculty Profiles

国際会議での講演など学生の研究実績を活かす指導

滑川 光裕教授 FA: 基礎管理 博士前期課程 博士後期課程
(情報システム学、システムシミュレーション工学)

専門は、最新の情報技術を用いて社会現象・自然現象のデータを分析し、その数値的特徴や論理性に基づき、将来予測を行うシステムシミュレーションです。最新の情報技術・センサー技術などにより得られた数値的なデータを解析し、社会に役立つ新システム開発を行うことができるよう、基礎レベルからの指導を行っております。国内外の企業・教育機関などで、そのIT利用技術で活躍している修了生もあり、修得した学術理論とICT技術により社会へ貢献しています。



徹底した少人数教育

井上 行忠教授 FA: 基礎管理 博士前期課程
(財務会計)

主に財務会計における修士論文の指導を行います。修士論文のテーマ設定や論文の構成方法、参考文献の表記などの形式面の諸規則、論文の作成に必要な基本的知識について指導を行います。入学の対象者は、一般の方には希望者を対象に、税理士試験一部科目免除(会計学科目)のための論文指導を行います。財務会計の授業におきましては、主に簿記論および財務諸表論を指導しております。

問題意識があれば受け入れますが大前提です

真鍋 雅史教授 FA: 基礎管理 博士前期課程 博士後期課程
(経済統計学、政策研究)

経済統計学的方法論を使った政策研究をテーマにしています。私自身の最近の研究は、金融市場の非対称情報の問題、看護ケアの質の経済評価、航空サービスの消費者選択といったテーマで進めています。院生の研究テーマでは、一つは高齢者が労働した時の社会の変化を世代重複モデルで分析、従業員満足度と顧客満足度の関係性について評価、設備投資の決定要因など多岐にわたったテーマで研究しています。



AI時代の学びとキャリア:

AIは生産性を高める道具として割り切ろう

岡本 潤教授 FA: 基礎管理 博士前期課程
(知能情報学)

自然言語処理の研究を通じてAI技術の最前線に携わってきました。AIは私たちの生活を豊かにしますが、その特性を理解し、人間が得意なものとAIが得意なことを見極める力が重要です。社会人の学び直しや起業を考えている皆さん、AIを「ラク」をするためのツール」として活用し、自ら課題を解決できる力を一緒に育んでいきましょう。答えのない問いに対し、自ら学び、多様な知識を武器に課題をクリアしていく姿勢を大切にします。

興味・関心を大切に

酒井 翔子 教授
(法学、租税法)

PP: 公共政策

博士前期課程

博士後期課程

近年、格差是正や環境問題などグローバルな社会問題に対し、税が果たす役割や企業の納税責任への注目が高まる等、現行税制の検討にはより広い視点が求められます。修士論文指導では2年間で税理士試験科目免除論文の質を備えた論文完成をサポート。論文作成を通じて培われる論理的思考力と税法の理解(趣旨・目的知識)を実務に活かせるよう、興味のある税法論点を独自の視点で追究しましょう。博士論文指導では3年間での学位取得を目指し目標・計画を明確にし、必要に応じて学会等での報告や複数の研究者による指導体制を通じ多角的にサポートします。



研究指導
教授



研究指導
教授

国税庁から出向している現職の国税職員です

岩佐 由加里 教授
(租税法)

PP: 公共政策

博士前期課程

専門は租税法で、国税庁での実務経験を活かしながら指導を行います。博士前期課程では、法人税法・国際課税などの授業を担当しています。修士論文については、税理士試験の税法に属する科目2科目免除のための指導を行います。法人税法や所得税法だけでなく、消費税法や相続税法、国税徴収法の指導にも対応いたします。修士論文の作成は、関係法令や裁判例、学説などに粘り強く向き合い続ける必要があり大変ですが、税理士になるための重要なステップです。一緒に議論しながら学んでいきましょう。

マーケティングとは経営そのもの。研究対象は広く深い。

一緒に有意義な研究を進めよう

上原 聡 教授

BS: 経営戦略

博士前期課程

博士後期課程

(商学、マーケティング戦略論)

私は日本交通公社での勤務経験も活かして、マーケティングの中でも心理学を中心に研究をしています。その関係でマーケティングサイコロジーという分野で研究をする学生が多いのですが、一方で流通小売業のマーケティング、あるいは中小企業のマーケティングといった形で多岐にわたる研究をされているということが大きな特徴となっています。マーケティングの定義はよく議論になりますが、一言で言えばマーケティングとは実は経営そのもの。従って研究の対象内容は非常に大きな広い分野で行うことができます。



研究指導
教授

松下幸之助生誕
130年記念講座

大学院秋学期講座を一般に特別公開

『経営組織論研究(組織行動)アントレプレナーシップ論』

公開プログラム

令和7年9月開講決定! 全14回

講師

渡邊祐介 嘉悦大学大学院客員教授・P・H・P理念経営研究センター代表

受講料

35,000円



企業家活動の源泉といえるアントレプレナーシップの本質を講義します。各回、名経営者や現在活躍している経営者をケースとし、おのおのの経営哲学や経営理念の形成、戦略との関連性、イノベーションや重要な経営判断の是非を議論します。また現代組織の運営に求められる種々のアントレプレナーシップの意義やあり方を解説します。



松下幸之助

明治27(1894)年和歌山県に生まれる。大正7(1918)年松下電器器具製作所創業。昭和21(1946)年PHP研究所創設。昭和54(1979)年松下政経塾設立。平成元(1989)年に94歳で没。生前は「経営の神様」と慕われパナソニックを世界的企業に育て上げた。同時に思想家・社会活動家として戦後日本の発展に尽した。著書「道をひらく」は566万部を超える大ベストセラー。

パナソニック(旧松下電器産業)グループ創業者、P・H・P研究所創設者

院生からのメッセージ

Message

大学院での学びがキャリアを広げ 社会貢献のきっかけにもなった

岡崎 友里江 Okazaki Yurie

博士前期課程修了(2022年)

業務と社会、経済とのつながりへの興味から大学院へ

全日本空輸株式会社に入社して1年ほどが経ち、客室乗務員の業務にも慣れてきた頃、「新しいことに挑戦したい」という思いが漠然と芽生えました。また、日々の業務や現場における判断の背景には、会社全体の方針だけでなく社会的・経済的な要因があることに気づき始めたことが、学び直しを考えた大きなきっかけです。ちょうどその頃、嘉悦大学で講師をしていた方から大学院進学を勧めていただく機会があり、背中を押されるような気持ちでした。

研究テーマは『航空会社の顧客満足と経営管理—JCSIデータを用いた実証分析』です。サービス・プロフィットチェーン・モデル(従業員満足の向上が、顧客満足を向上させ、企業業績を向上させるサイクル)を基に、ANAとJALの過去10年間のデータの分析を行い、サービス水準指標と従業員満足指標が顧客満足にプラスの影響があることを明らかにしました。

現場の質的向上に貢献。自分のキャリアの幅も広がった

こうして2022年に博士前期課程を修了。2024年には、一般財団法人

運輸総合研究所に出走して研究員を務め、現在は客室乗務員の仕事に戻り、国際線と国内線の乗務をしています。

振り返ってみて、経営や経済、データ分析の知識を活かして、現場の業務プロセスを俯瞰的に見る視点が身につきました。改善提案を行うなど、現場の質的向上に貢献しています。また、財務や戦略、組織運営に関する経営的な知識が深まったことで、自分の業務が会社全体の目標や方向性とのようにつながっているのかを意識しながら行動できるようになりました。会社からの推薦もあり、一般財団法人運輸総合研究所へ出走する機会も得ることができました。

2年間の学びの中で、経営や経済の視点に加え、データに基づいて物事を考える力が養われたことで、キャリアの幅が広がり、新たなフィールドでも貢献できるきっかけになっていると感じます。



社会人として積み重ねてきた経験を 学術的に振り返り、深い気づきや成長を得たい

水越 明日美 Mizukoshi Asumi

博士前期課程在学中

社会経験を学術的に見つめ直したい思いから大学院へ

新卒で航空会社に入社し、客室乗務員として6年間勤務しました。その後IT系企業に転職し、現在は法人対応や提案業務を担当する営業職です。社会人として働く中で、日々の経験をただ積み重ねるだけでなく、学術的な視点から見つめ直すことで、より深い気づきや成長が得られるのではと考えるようになり、進学を決意。その上で、学部生時代にお世話になった真鍋雅史先生、そして同じくエアライン業界でのご経験を持つ宇佐美宗勝先生のもとで、実務を振り返りながら学びを深めたいと思い、嘉悦大学大学院への進学を決めました。

研究テーマは、「サービス業における従業員と顧客の関係性に注目し、現場で起こるコミュニケーションの摩擦や、それが与える心理的影響」です。実体験を基に、働きやすい職場環境づくりにも貢献したいと考えています。

理論と実践に基づく考え方が、研究と今後に役立つ

大学院で身に付けた論理的な視点や分析力を、日々の業務の課題発見や改善提案に活かしていきたいと考えています。実務と学びを関連づけ、



より価値ある提案ができる営業パーソンになることが目標です。

研究テーマに沿い、論文の選び方や研究方法について具体的なアドバイスをいただけたところに満足しています。問題設定の深め方や分析の視点を教わり、研究の質を高める指導だと実感します。

現在、松下幸之助の経営哲学やデータマイニングの授業を履修し、理論的な知識と実践的な分析手法を学んでいます。幅広い分野の学びが自分の研究の基盤を支えています。

印象に残っているのは、やはり松下幸之助の授業です。経営の本質や人を大切にする経営哲学を深く学ぶことができました。単なる理論ではなく、実践に基づく考え方が多く、自分の研究や将来の仕事にも大きな示唆を得られたと思います。

実学の嘉悦はビジネス畑の社会人に 寄り添ってくれる

窪寺 暁 Kubodera Satoru

博士後期課程在学中

得意な国際事業戦略のコンサルでさまざまな仕事に従事

大手製薬会社に入社後、30歳で社内公募のMBA留学に挑戦しました。MBAといっても学究的な道を目指したわけではなく、経営管理職への登竜門的な位置づけとしての会社派遣でした。帰国後、MBAで学んだ事業戦略論を現場で実践したいと考えてコンサル会社（三菱UFJリサーチ&コンサルティング）に転職。製薬会社の経営企画部門で事業計画の一端に携わっていたものの、意思決定権までは若手になく、米国で学んだファイナンス・ストラテジーなどを大きな舞台で試してみたいという気持ちが勝り、転職を決意したのです。その後はコンサル会社の中国支社に外向して、中国やASEANに進出したい日本企業を担当しました。外資系のヘルスケア企業2社を渡り歩いて47歳になった時、自分がやってきた国際事業戦略の見識をさらに高めたいと考えて、一橋大学の公共政策大学院で国際関係の修士を取得。さらに古巣のコンサルでプロジェクトマネジメント・顧客開拓などの仕事に携わった後、創業ベンチャーの役員として、事業開発やファンド交渉を担当しました。

抛り所をもう一つ増やすことが 何よりのメリットに

阿部 孝正 Abe Takamasa

博士前期課程在学中

良いモノづくりが売りに上げに直結しない事態に遭遇

高校卒業後1年半の会社勤めをしたのち、宅浪を経て、21歳で大学の機械科に入り、修士課程まで進みました。修了後は建設機械メーカーに就職し、油圧ショベルの構造物を開発する部署へ。開発現場で2～3年が経ち、金属疲労の研究に関心を持ち始めた頃、仕事の視点をもう一段階上げたいと考え、会社から通いやすい広島大学博士後期課程の門をたたきました。研究テーマは材料の選択、品質のさらなる長期維持、機械が壊れる時期の正確な予測といった内容でした。技術者としての王道は、商品として良いモノを開発し、かつ、収益を株主に還元することと以前から考えています。そんな私は、中国工場に研究開発の責任者として40歳で赴任しました。直後、自信を持って投入した新商品の販売が、前年比で半分以上に落ち込むという事態に遭遇したのです。

売りに上げを左右する“見えざる要因”探りたい

売りに上げは品質とは別の所で決するという現実直面して衝撃を覚え、品質とは別の売りに上げを左右する“見えざる要因”を大学院で探りたい

これまでの仕事を総括。体系づけてまとめたい

50歳を過ぎると、国際事業戦略について自分の考えを体系づけてまとめたいという気持ちが高まり、嘉悦大学の博士後期課程に入学することに決めました。日本企業の海外進出において、『なぜ日本の経営が中国では通用しなかったのか』をテーマに研究を行いたいと考えています。実学を重んじる嘉悦大学は、私のようなビジネス畑の社会人に寄り添って研究活動を後押ししてくれる環境が整っています。例えば、授業はできるだけ土曜や、夕方以降に受講できるようになっていること。また、教授の方々からも、実ビジネスに沿った研究テーマについて多面的にアドバイスをいただいています。博士号取得後は、後進育成にも関わりたいと考えています。



と考えました。嘉悦大学の博士前期課程に興味を持ったのは、カリキュラム上の大半を会社の休日である土曜に組むことが可能であるなど、社会人が学びやすい環境が整っていること。さらに、入学説明会で私が抱えている経済学の疑問に担当教員の方が丁寧に答えてくださったことが大きく、教職員の人の良さも後押ししました。オンライン授業で時間のストレスを感じることもなく、合同研究指導会で他教員との交流がある点にも満足しています。若い方へのアドバイスは、技術一辺倒では不十分だということです。経済、経営など広い視野も必要でしょう。自分の専門分野や抛り所を一つ増やすだけで全体を俯瞰した意見が言えるようになるのが、技術者としての何よりのメリットだと思います。

オンラインでの受講を可※とする柔軟な授業形式を整えています

社会人が自分のライフスタイルに合わせて受講できるよう、多くの科目がオンラインあるいは対面とオンラインのハイブリッド形式で行われます。さらに、土曜日授業や夏期・冬期の集中講義の設置（予定）で無理なく修了できるようになっています。

※留学生は対象外です

研究のための施設と環境

名門小金井カントリー倶楽部・桜の名所小金井公園に隣接

キャンパス内は、緑豊かで静かに学べる環境です。学内の無線LAN完備はもちろんのこと、図書館では、膨大な研究・教育資料から瞬時に求める蔵書やデジタル情報を入手できる情報検索システムを有しており、効率よく学修できる環境となっています。



C棟

C棟3Fは、大学院専用の教室と研究室を備えています



C棟2Fラウンジ

落ち着いた雰囲気のC棟2Fのラウンジ



C棟3F院生研究室

共用学習スペース&個人ロッカー、ミーティングコーナー、書架などを備えたC棟3Fの大学院専用研究室



B棟図書館

B棟の図書館は、授業日・試験日は、休日を除き8:50～19:30（土曜日は10:30～18:00）開館しています

ACCESS

首都圏のビジネス最前線エリアからも近いので、仕事をしながらでも無理なく通えます

●西武新宿線 高田馬場駅から29分（19分+徒歩10分）

●西武新宿線・西武池袋線 所沢駅から20分（10分+徒歩10分）



西武新宿線
花小金井駅
徒歩（約10分）



JR中央線
武蔵小金井駅
バス（約8分）+
徒歩（約5分）



JR中央線
国分寺駅
バス（約20分）+
徒歩（約3分）



西武池袋線
清瀬駅
バス（約20分）+
徒歩（約5分）

本学までの所要時間[分]
（目安）乗換・待ち時間は含まれません。所要時間の短い時間を優先としています

大学院特別講座「KAETSU FORUM」



地方創生・地域活性化を担う皆さまに向けて著名講師による講座を開設。まずは、本学副学長 真田幸光教授による定期講話「真田塾」が四半期ごとをめぐりに開講しました。日本と世界の現状を俯瞰し、参加者の経営の指針として役立つ情報となることでしょう。随時公式HPで参加を募らせていただきます。

副学長 真田幸光教授

公開講座開講



カエツホール

嘉悦大学の経営経済学部教授陣が専門領域をわかりやすく講義する市民教養講座を開講します。授業カリキュラムが確定次第順次公式HPで公開します。



大学院ビジネス創造研究科 博士前期課程・博士後期課程

〒187-8578 東京都小平市花小金井南町2-8-4
TEL: 042-466-3711（代表） URL: <https://www.kaetsu.ac.jp/>
大学院に関するお問い合わせ[キャリアデザインセンター]
☎ 0120-970-800 E-Mail: kikitai@kaetsu.ac.jp

